

納内まちづくり通信

おさむない

第2号

発行：納内地域集落対策協議会

いつまでも住み続けられる活力あるまちづくりに取り組む、納内地域集落対策協議会の活動をお知らせします



盛大に行われた納内神社例大祭の様子

実りの秋、今年も納内の水田は、5年連続の豊作となりました。納内地域集落対策協議会では、今後5年間の具体的なまちづくりの活動を計画するため、秋にかけてまちの資源調査やヒアリングを行ってきました。11月15日(日)には、地域のみなさんにご参加いただき「納内のまちの将来を話し合う集い」を行います。裏面のお知らせをご覧ください、お申し込みください。一人でも多くの方のご参加を、お待ちしております。

納内地域集落対策協議会 会長 安藤 一彦

まちの資源の掘り起こしをしました

納内の「まちの資源」というと、みなさんはどんなものを思い浮かべるでしょう？今回あらためて、納内のまちの資源を掘り起こしてみました。

屯田兵開拓から始まる歴史や、地神宮と地神祭などの、農業に関わる伝統は大切にしたいです。また自然が豊かで四季の変化が楽しめることも魅力です。お米、そば、りんご、さくらんぼのほか、花卉などの農産物も豊かです。また農産物の加工の名人もたくさんいます。狸々獅子舞などの伝統文化や、季節ごとのお祭りなどの資源もあります。

今後はこのような資源を生かして、まちを元気にする取組を考えていきたいと思えます。



納内を見渡す丘からは、季節の風景の変化を楽しめます。



6丁目奥には「新四国八十八ヶ所」がまつられています。



味噌や保存食などおいしいものづくりの名人がいます。



納内ふれあい夏祭りは多世代の交流の場になっています。

いろいろな方にお話をお聞きしました 16人の方にご協力いただきました。

■離農された方から・・・

離農されたきっかけや、納内の農業継続に必要なことなどをお聞きしました。若手が担える水田面積には限りがあり、離農される方が増えると耕作放棄地が生まれることの心配や、農業の付加価値を高める必要があるというご意見をいただきました。

■ご高齢の方から・・・

生活の不便や、将来の不安をお聞きしたほか、協議会で試験実施をした「冬の集住体験」についてお聞きしました。元気な高齢者の活躍の場を作ることや、気兼ねなく生活支援を受けられる工夫が必要というご意見もいただきました。

■移住された方から・・・

移住されたきっかけや、住んで良かった点や課題、今後移住する方を増やしていくためのアイデアなどをお聞きしました。納内の静かな環境に満足されているという一方で、将来の交通や医療環境への不安についてご意見をいただきました。

■ 納内地域集落対策協議会 主催

第1回

納内のまちの 将来を話し合う集いへのお誘い

ご近所お誘い合わせで
若い方もぜひ
ご参加ください！

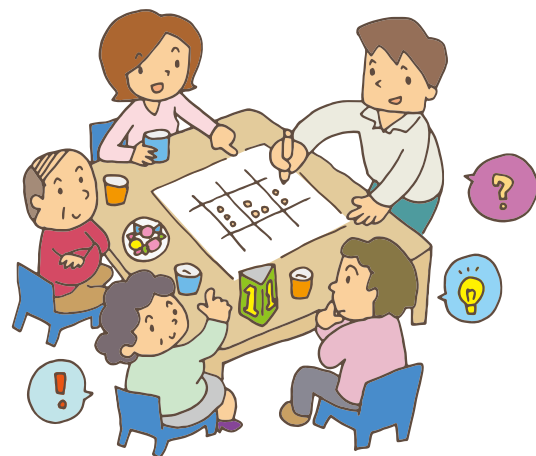
納内のさまざまな資源を生かして、
元気に暮らし続けられるまちにしよう！

私たちの住む納内地域では、高齢化や人口の減少が進んでおり、それに伴うさまざまな課題が心配されます。

そこで、今後5年間でどのような取組に力をいれていくかについて、いろいろな立場や世代の人が集まって知恵を出し合う話し合いを行います。話し合いのテーマは、

- 1 高齢者の活躍の場づくり 2 移住・交流の促進
- 3 地域の仕事づくり 4 まちの活気・賑わいづくり

です。



日時 平成27年 **11月15日** (日)

13時30分～16時30分

会場 納内コミュニティセンター 体育館

(深川市納内町3丁目10-3)

申込方法 11月10日(火)までに、お名前、性別、年代、関心のあるテーマをご連絡ください。定員は150人です。

問い合わせ
申込先 事務局：納内支所 電話 (24-2111)、FAX (24-2125) または
メール osamunai@city.fukagawa.lg.jp にご連絡ください。(担当：水本、村木)

※お知らせいただいた個人情報は、この行事の実施のみに使用します。

【お申込】 下の欄に記入のうえ、FAX 24-2125 (納内支所) へ送信ください。提出も可。

お名前		関心のあるテーマ (マルをしてください。複数可。)
性別	男性 ・ 女性	1 高齢者の活躍の場づくり
年代	10代・20代・30代・40代 50代・60代・70代・80代以上	2 移住・交流の促進 3 地域の仕事づくり 4 まちの活気・賑わいづくり